

想い

浦添市立港川中学校三年 池原 生恵

木々を照らす初夏の光が、
白くて、眩しい。
見上げると空はどこまでも蒼く、広くて。
太陽は暖かな光の粒を、
辺り一面に、散りばめる。
穏やかな風が吹けば
道端の小さな花が揺れ、
葉の擦れ合う優しいげな音に、
私の心は満たされていく。

美しいこの地球に、私達は生まれた。
そして、生きている。
共に、この瞬間を。

柔らかな日射しを受ける、海の煌めき。
でも、その下に眠る悲しい記憶。
澄みきった大空は、
私達が繰り返す過ちを、見つめてきた。

月桃の香りと三線の音色に包まれたこの島に、
血の匂いが立ち籠め、恐怖の悲鳴の響いたあの日。
人々の毎日のささやかな幸せが、生きる喜びが、
無残にも奪われていったあの日。
そして今でも
世界のどこかで、
絶えず同じ悲劇が繰り返される。

戦争体験者が私達に託した願いを、
今、この風は乗せて吹く。
武器のない未来を創ること。
本当の平和を、追い求めること。

生命は、美しい。
今という時間を、この一瞬一瞬を、
一生懸命に、輝いて生きていく。
時に何度も失敗し、
喜怒哀楽を積み重ねて、
人はみな、成長していく。
瞬間の生命の輝きを、

感じられる人でありたいと、私は思う。
友の笑顔、蟬の鳴き声、鳥のさえずり、
朝露に濡れた花、小川の流れ。
私達の周りに、生命は溢れているのだ。

新しい時代を迎えた今、
これからを創るのは、ここに生きる私達だ。
戦争で犠牲になった生命に、
これからを生きる多くの生命に、
私は固く約束する。
計り知れない苦難を
生き抜いてくれた曾祖父母に感謝して、
繋がれた命を、大切に生きること。
利己心を改め、

いつでも強く、優しくあること。
瞬く間に過ぎていく一日の中にも幸せを見出し、
人を羨み暗い顔をするよりも、
明るく笑って生きていくこと。
たとえ意見が食い違っても、
相手を非難せず認め合うこと。
感じ方も考え方も、
十人十色なのだから。
だからこそ、「自分」というものを、しっかりと
持ちつつづけること。
隣で輝く生命を愛し、尊重することを。

相手の欠点よりも、美しい部分を見つけ、
話し合い、分かち合って、歩み寄ろう。
そして、繋がれた想いを、
未来へ受け継いでいく。
この島から生まれた光が
幾千にも枝分かれし
この空を飛び超えて
地球を包んでいけるように
人を想う心。誰かを愛する力。
その想いを、諦めずに広げていくことで、
世界は、平和という方向に
大きく動きはじめるはずだ。